

第2期港南区地域福祉保健計画 地区別計画中間振り返り特集

平成23年度から始まった第2期港南区地域福祉保健計画も3年目を迎えました。現在、区内15地区で、これまで取り組んできた様々な活動を振り返っています。各地区で地域活動に携わっている皆さんが集まり、これまでの活動を整理したり、今後の活動への展望などを共有しています。

第一弾！

今回は15地区のうち、永谷地区、芹が谷地区、野庭住宅地区、下永谷地区、野庭団地地区、大久保最戸地区、日野地区の7つの地区の振り返りの様子や、参加された方々の感想などを紹介します。

第2期港南区地域福祉保健計画ってどんな計画？

第2期港南区地域福祉保健計画は、「一人ひとりがつながり、お互いに支えあえるまちをつくる」という目標のもと、平成23年度から平成27年度までの5年間の取組の方向性をまとめた計画です。地区別計画と全体計画で構成されています。



ひまわりのわ



地区別計画

港南区は連合町内会単位で15の地区があり、それぞれの地区ごとに地区別計画を策定しています。

地区別計画には、地区ごとの特色や独自の課題が反映され、「自分たちの地域がこうなればいいなあ」「こういう活動を広げていきたい！」など、各地区の目標や取組が掲げられています。

全体計画 取組の方向性を8つのテーマで表しています。

地域全体のテーマ

テーマ1	活動の周知・情報共有
テーマ2	活動のネットワークづくり
テーマ3	担い手・人材の発掘
テーマ4	地域のつながり・交流の場づくり

分野・対象者別のテーマ

テーマ5	健康づくり
テーマ6	地域で高齢者の支援
テーマ7	地域で障害児・者の支援
テーマ8	地域で子育て支援・青少年育成

ながーく住みたいながや ～みんなで作ろう地域の和～

永谷地区

地域の方々から
出た意見を、
板書にとって
整理します。

永谷地区は平成19年から一貫して、地域支えあいネットワークで、自治会・民生委員をはじめ様々な地域活動者が集まり、地域で直面している問題をテーマに情報交換・意見交換を行ってきた地区です。今回も、永谷地区で活動をしている地域の皆さんが集まり、これまで地区で行われてきた活動と地区別計画とを突き合わせながら、意見交換が行われました。

地域福祉保健計画が策定される前から行ってきた支えあいネットワークの流れが、そもそも計画の推進であったことを今回の振り返りで再確認できたと共に、これまでの取組が間違っていなかったことを確認できました。

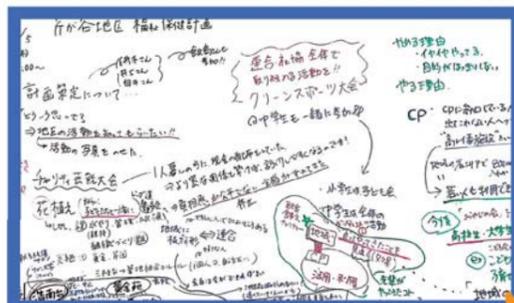


はなみち・さかみち・えがおのみち せりがや

芹が谷地区

芹が谷地区は、「皆でひとつのことに向かって」と年1回クリンスポーツ大会を行ったり、

日頃から、防災対策や要援護者対策につながる住民同士の顔の見える関係作りを行ってきた地区です。これらの活動のひとつひとつが、芹が谷地区の地区別計画である「はなみち・さかみち・えがおのみち せりがや」につながっているということが、今回の意見交換に参加した皆さんの中で実感できたようです。さらに、振り返りを行ったことで、時代に合わせた計画の見直しと、多くの人が参加できるような仕組みが必要だという認識も得られたようです。



参加者の声

「青年部を作りたい」という何年もの思いを、振り返りの場で伝えることができました。

振り返りの板書の一部

たくさんの取り組みが行われたことがわかります。

のばじゅうマップ

～手をつなごう思いやりの輪～

野庭住宅地区

野庭住宅地区は、地域福祉保健計画が策定されるずっと前から、野庭住宅連合夏祭りや野庭住宅福祉フェスタなど、連合自治会・地区社協が一体となって住民の交流やふれあいを大切にしている。

ための行事を行ってきました。また、各自治会で趣向を凝らし、花植え運動や高齢者サロン、転倒防止器具の設置などを行ってきた地区です。今回の振り返りの場で数多くの活動を振り返り、やってあげる人とやってもらう人という関係でなく、「どっちがどっちだかわからない関係性」が互いの垣根をなくす第一歩だと再認識したようです。



地区別計画策定時の資料を見て、振り返りに役立てることも。



参加者の声

- 今後も活動を継続していくためには、地域の中での後継ぎを探さねばと思いました。
- 活動を続けていくには、活動者が楽しいと感じることが大切だと思いました。

ふるさと
育てよう私たちの故郷 下永谷
下永谷地区

下永谷地区では、地区別計画の目標に沿って、以前から地区活動や地区行事として取り組んできた事を洗い出しながら振り返りが行われました。そこで抽出された様々な活動の歴史をたどると、継続していく中で、少子高齢化など時代の背景に合わせて見直しや工夫をしながら活動が行われていることが分かりました。また、「町会単位の活動を充実させたり、地域の福祉ニーズの検証をしながら取り組んでいきたい。」と、第2期地域福祉保健計画の残り2年間の方向性を、参加された皆さんで共有できたようです。



地域で取り組んできたことについて、皆さんの議論を交わしました。



参加者の声

- 振り返りをしたことで、来年以降に向けての新たな目標ができたと思います。
- 振り返りにより把握した課題をいかにまとめ、次にどう活かすかが大切だと思います。
- 高齢者支援を続けていくには、若い人を取り込むことが重要。若い人が発言できる場を設けていかなければと思います。

地域で支えあうしくみづくりのために

ふるさとのば情報

ふるさとのばプラン (野庭団地地区地域福祉保健計画)

野庭団地地区

野庭団地地区は支えあいやボランティアの意識が高く、数多くの地域の活動が展開されています。高齢社会を迎え、明るく住みよい地域づくりを進めていくために、「ふるさとのばプラン」(野庭団地地区地域福祉保健計画)を策定しています。

これまでの活動を振り返りながら、参加したみなさんが実感できたことは、どの活動も始めた時に比べ進展しているということ。これは、野庭団地地区の皆さんが、今まで活動を継続し蓄積されてきたことで得られた実感ではないでしょうか。



さらに、振り返りから、防災に関する活動だけではなく様々な課題に取り組むことが必要だということや、地域で支えあう関係づくりのための交流の機会をいかにして作っていくかという課題も見えたようです。

難しい課題について全員で考えます。

参加者の声

- 東日本大震災を機に、地域の防災意識が高まっていると感じます。
- 地域の活動に参加するようになって日が浅いので、振り返りはこれまでの取組を知る良い機会になり、とても勉強になりました。
- 「防災」と「見守り」は切り離して考えることができないと思いました。

第2期港南区
地域福祉保健計画

地区別計画中間振り返り特集

第一弾!

ハートのあるまち大久保最戸地区
住民が共生する和みの街
大久保最戸地区

「私たちがこれ(ハートのあるまち)をやっているのはこれ(地区別計画)があるからなのよ!そこを忘れちゃダメ。」という言葉から、大久保最戸地区の地区別計画振り返りは始まりました。

「障害児にとっても認知症高齢者にとっても育児中のママさんパパさんにも皆に優しいまちづくりは2年や3年でできるものではないので、そのために今の活動を長く継続していかなければ。」と、参加した皆さんで確認し合う機会になりました。そして、活動の継続には、活動者自身が楽しむことが大切ということも、改めて共有できたようです。

地域の方は、お揃いのシャツとバッジで振り返りに臨みました。



参加者の声

- 次世代活動者の育成や人材発掘の必要性があるということを再認識しました。どうやって新しい人材を引き入れていか考えていかなければと思います。
- 振り返りをしてみて、地区別計画推進のために、これまでの取組を目に見える形にすることが大切なのではないかと思いました。



日野地区

日野地区は、広いエリアならではの課題を抱えながらも、それぞれの自治会、町内会ごとにアイデアを出し、工夫をしながら、活動を進めてきた地域です。まさに地区計画のスローガンのように、ひとりひとりの思いを発信する、そんな振り返りの機会になりました。

日野地区では振り返りの機会を2度設けました。第1回目の様子!



第2回目の様子↑

参加者の声

- 地域全体のつながりをつくるために、様々な行事や情報交換の機会などを設けてきました。
- お互いの行事の参加を通して地域の福祉施設との交流が進んだと感じました。
- 子どもを中心とした活動が充実してきていると思います。
- 各自治会・町内会ごとのそれぞれの特性を生かした情報発信を、どのように行っていくか、具体的にどう活用するかを考えなければと思います。



各地区の皆さんは、振り返りを通して様々な想いを抱かれたようです。数多くいただいた感想の中で、「地域のことを考えて、楽しみながら活動することが継続に繋がった。」という言葉が特に印象的でした。「楽しく活動できる」、これが推進の原動力なのかもしれません。第2期港南区地域福祉保健計画の残り2年間、笑顔で地域の活動に取り組んでいただけるように、これからも区社会福祉協議会と地域ケアプラザ、区役所で支援させていただきます。

「ひまわりのわ」次号では、今号で紹介できなかった、永野地区、ひぎり地区、上大岡地区、笹下地区、日下地区、日野第一地区、港南台地区、日野南地区の8地区の地区別計画振り返りの様子をご紹介します。お楽しみに!